

回復期リハビリテーション病棟入院料〔1〕に係る掲示事項

(5階東病棟、5階西病棟)

	4月	5月	6月
直近3か月間の退棟患者数	34名	37名	37名

退棟患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳		4月	5月	6月
患者構成	①脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態	18名	22名	19名
	②大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	4名	2名	0名
	③外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	1名	0名	1名
	④大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態	0名	0名	2名
	⑤股関節又は膝関節の置換術後の状態	11名	13名	15名
	⑥急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名	0名	0名

※算出期間： 令和8年4月～令和8年6月
3か月ごとに更新

直近のリハビリテーション実績指数（6か月実績）

①	前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	204名
②	上記①のうち、実績指数の計算対象とした患者数	184名
③	上記②の患者の退棟時のFIM得点(運動項目)から入棟時のFIM得点(運動項目)を控除したものの総和	7,857点
④	上記②の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和	100.41
⑤	リハビリテーション実績指数(③/④)	基準値:48 78.2点

※算出期間： 令和8年1月～令和8年6月
6か月ごとに更新

身体的拘束最小化推進体制加算に係る掲示事項

直近の身体的拘束実施割合（3か月実績）

①延べ入院日数	②うち、身体的拘束の実施日数	身体的拘束の実施率(②/①)
23,272日	590日	2.5%

基準値:3.0%以下

※算出期間： 令和8年4月～令和8年6月
3か月ごとに更新



兵庫県立リハビリテーション中央病院長
(令和8年7月掲示)

回復期リハビリテーション病棟入院料〔3〕に係る掲示事項

(3階東病棟)

	4月	5月	6月
直近3か月間の退棟患者数	36名	46名	39名

退棟患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳		4月	5月	6月
患者構成	①脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態	0名	1名	0名
	②大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	5名	8名	8名
	③外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	0名	0名	0名
	④大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態	12名	22名	18名
	⑤股関節又は膝関節の置換術後の状態	19名	15名	13名
	⑥急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名	0名	0名

※算出期間： 令和8年4月～令和8年6月
3か月ごとに更新

直近のリハビリテーション実績指数（6か月実績）

①	前月までの6か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	231名
②	上記①のうち、実績指数の計算対象とした患者数	209名
③	上記②の患者の退棟時のFIM得点(運動項目)から入棟時のFIM得点(運動項目)を控除したものの総和	7,277点
④	上記②の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和	86.30
⑤	リハビリテーション実績指数(③/④)	基準値:37 84.3点

※算出期間： 令和8年1月～令和8年6月
6か月ごとに更新



兵庫県立リハビリテーション中央病院長
(令和8年7月掲示)